

中根博士の図説(1963)もあり、林 長閑博士も原色で図説しておられ(1975)、成虫、幼虫、ともに昆虫を捕食するものと思われると記しておられる。

ところで、兵庫県下での記録は三木 進氏のものが始めてあると思われる(きべりはむし, Vol. 5, No. 1/2: 17-18, 1977)。三木氏の記録は野外での採集でなく、三田市でネムノキ枯枝から羽化したものである(28-IV-1975)。その後全く記録は無かったように思う。筆者は1980年6月10日神戸市内の烏原で叩き網で1♂を採集した。以上2つの記録は一応発表しておいた(Irattsume, No. 6, P. 38, 1982)。本年も1♀を烏原で採集出来た。これも網で樹の枝先をすくって得たものである(1983年6月1日)。

前にも書いたようにハムシダマシに良く似ているので見逃されているのではないだろうか、県下にはもっと他の地にもいると思われる。今の所2ヶ所しか知られていない。まして生態の片鱗もつかめていない。なんとか調査をして見たいものだとつねづね考えている種の一つである。

ムネアカチビナカボソタマムシ神戸市内に産す (兵庫県甲虫相資料・139)

高 橋 寿 郎

1983年7月4日神戸市烏原で灌木を叩いて採集していたら始めて見るタマムシが入って来た。帰宅後調べて見たらムネアカチビナカボソクマムシ *Nalanda rutilicollis* (Obenberger, 1914) の♂であることがわかった。可成り分布の広い種であるが、本州では関東以西に見られる種のように幼虫はアカメガンツを食べるとなっている。所で筆者の調べた範囲では兵庫県下からの記録の無い種であったので、此処に記録しておきたい。

イボタサビカミキリ兵庫県下での記録 (兵庫県甲虫相資料・140)

高 橋 寿 郎

イボタサビカミキリ *Sophronica obrioides* (Bates, 1873) は Bates が長崎を産地に *Lasiapholes* 属で記載されたカミキリである(Ann. Mag. Nat. Hist. (4) XIII, P. 382)。